

# 操作手順

\*各ステップでの反応温度、反応時間は厳密に守ること。  
 \*特に温度指定のない場合は、常温(15~25℃)で操作すること。  
 \*染色結果に影響を及ぼす為、必ず下記の操作手順に従って操作を行うこと。

## ヒストファインHER2キット(MONO)

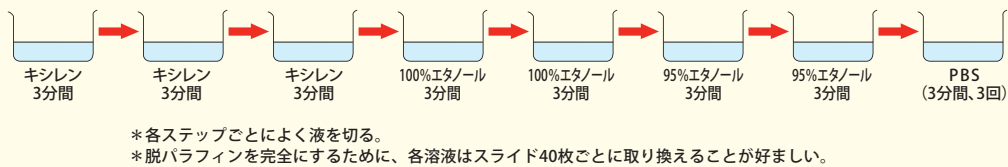
### ●検体準備



### ●PBS(洗浄用)の調製

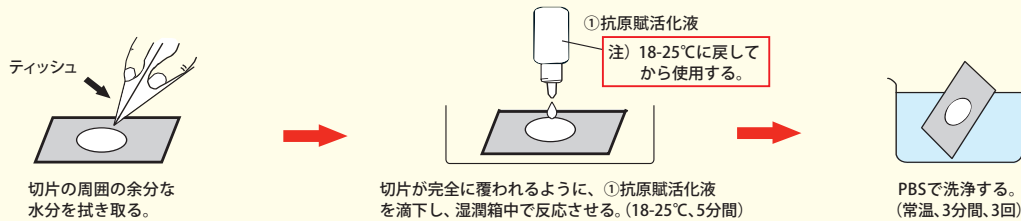


### ●脱パラフィン

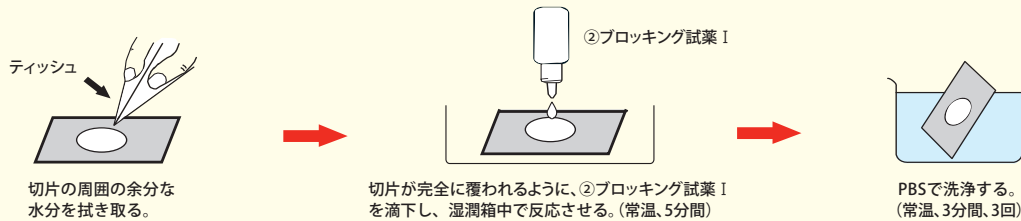


### ●抗原賦活化液による処理(プロテアーゼ処理)

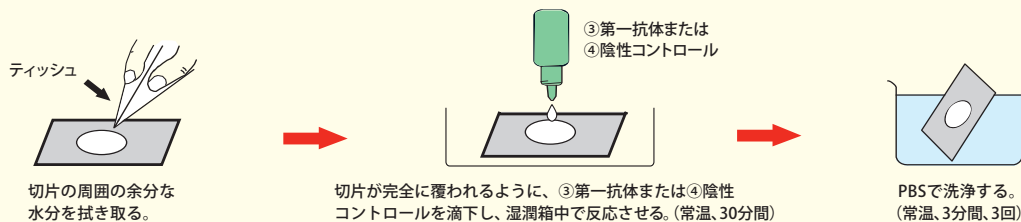
染色結果に大きな影響を及ぼす為、処理の温度、時間等を正確に行う。



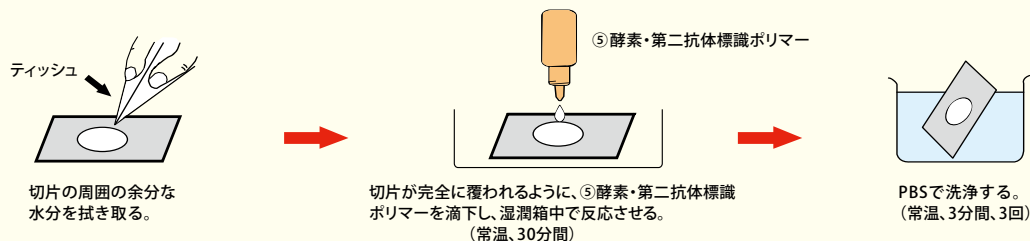
### ●ブロッキング試薬Ⅰによる処理(3vol%過酸化水素水による内因性ペルオキシダーゼ処理)



### ●第一抗体[抗ヒトHER2/neu 遺伝子産物モノクローナル抗体(SV2-61 γ)(動物種:マウス)]または陰性コントロール[マウスイムノグロブリン]の添加・反応

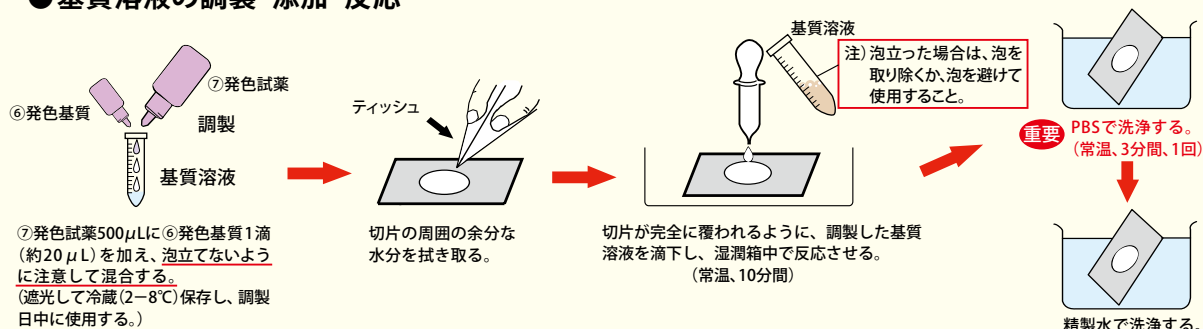


## ● 酵素・第二抗体標識ポリマー [ペルオキシダーゼ標識抗マウスIgGポリクローナル抗体 (Fab') (動物種:ヤギ)] の添加・反応



## ● 基質溶液の調製・添加・反応

注：試薬の取り扱いに気をつけ、使い捨て手袋等用いる。



## ● 対比染色

対比染色試薬(ヘマトキシリン)にスライドを浸した後、流水でよくすすぐ。

## ● 封入

水洗、脱水、キシレンによる透徹後、非水溶性封入剤で封入する。

## ● 参考

参考：PBS 洗浄用

- ・HER2キット (MONO) 20テスト包装の場合、750mL×20回作製できる。
- ・HER2キット (MONO) 40テスト包装の場合、750mL×40回作製できる。